

# 障害のある子供の教育内容の在り方 について

- 前千代田区立麴町中学校の校長工藤勇一氏
  - 「学びのスタイル」を一律にしない
  - 誰一人置き去りにしない学校
  - それぞれの子どもたちが主体的に学べるように授業内容や教員の意識を変えること
  - 学校は子どもたちが主体的に学べるような環境を整える必要がある

東洋経済オンライン「前・麴町中の工藤校長、私立で大胆改革の中身  
「学びのスタイル」一律にしないのがポイント」<https://toyokeizai.net/articles/-/382769>

新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議（第11回）  
金森克浩提出資料

# 障害のある子供の教育内容の在り方 について

- 特別支援教育だからこそICT
  - 個々の児童生徒の教育的ニーズに応じて指導をするのであればICTを使った学びは当然。
  - 教える道具ではなく学ぶ道具として使えるようにし、使いこなせるための指導の必要性。
  - 障害による操作の困難さを支援するための使い方(支援技術)について学ぶことでインクルーシブな教育につながっていく。
  - 障害による困難さの多くは情報の入出力、操作、理解が困難であるのでICTを含めた情報教育はとても重要。